

大阪市西区にある経営コンサルティング事務所、長尾経営事務所が毎月発行するニュースレター。われわれの「人となり」を知って頂きたいというおもいで、2013年5月よりスタートしました。最近の活動報告や事例紹介、オススの書籍など、経営に関するお役立ち情報を中心に伝えします。

新年明けましておめでとうございます！
本年も長尾経営事務所を
よろしく願い申し上げます！



コンさるくん

★今月の TOPICS ★



新春の挨拶

代表 長尾 康行

皆様、明けましておめでとうございます。大阪では穏やかな天候が続き新たなスタートを切る事を応援してくれているかのようでした。今後もお客様に満足していただけますよう精進して参りますので、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

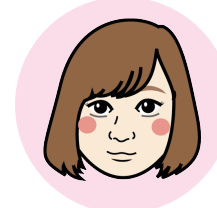
さて、2017年とはどのような年になるのでしょうか。世間では景気は上向きと言いつつも中小企業の業績に十分反映されていないような気もしますが、ともかく外部環境はどうであっても、自助努力は絶え間なく行わなければならない。

私は「売上」にこだわるという意識が年々弱くなっていることが気になっています。この10年を振り返るとリーマンショック、超円高、原油等のエネルギー資源の高騰、東日本大震災など外部環境の動きが非常に激しかったかと思えます。その影響から業績悪化の原因の多くを外部環境に求め、自発的に経営改善を行う意欲や意識（特に売上を上げること）が低下してしまったのではと推測しています。利益を出すために経費を下げることばかりを優先し、売上をどのようにあげていくかについてはあまりに議論がなされていません。

言うまでもなく、売上を上げていくのは簡単なことではありませんが、せめて「誰が」「誰に」「何を」「いつ」「どうやって」「いくらで」「どこへ」の5W2Hの切り口で考えることくらいは行っていくべきではと思います。また、泥臭く営業をすることもお少なくなってきています。「詳しくはWEBで」というフレーズは最近どのTVCMでもお決まりになっていますが、中小企業の営業はそんなスマートではなく丁寧に、泥臭く、根気よく、足繁くというスタンスが必要ではと思うのです。

成熟した日本経済の中で市場は縮小の一途ですし、競争もいます。その中で自社の売上を上げるには創意工夫と継続性が必要です。

皆様の会社では売上を上げるという意識が弱まってはいませんか？一度、社内で議論してみても良いテーマかもしれませんね。



本年もよろしく
お願い申し上げます

アソシエイト 住吉いづみ

アソシエイトの住吉です。昨年は大変お世話になりました。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。年末年始はいかがお過ごしでしたか？私は、今年の年越しは実家で両親とゆっくり過ごしました。年明けすぐに父の誕生日があったのですが、今年からは小さくてかわいい甥っ子も一緒に、大人数でにぎやかな誕生日パーティーを催しました。写真はその際の手作り寿司です。ほっこりとした2017年のスタートでした。

さて、昨年を振り返りますと、任せて頂ける仕事の幅が広がり、これまでではある一部分だけを担当していた業務のほとんど全てを担当させて頂いたり、お客様と直接やりとりをさせて頂く場面が増えたり・・・と、大きな成長の機会を頂いた一年だったと思います。また、部分ではなく全体を見ることで、今までよりも業務の理解が深まったように感じます。

ところで、昨年の始めに『読書100冊チャレンジ』を宣言させて頂きましたが、覚えていらっしゃるでしょうか？1年間で100冊の本を読む、というものでしたが、結果は70冊でした。序盤は好調でしたが後半からは忙しさにかまけて読書を怠ってしまい・・・恥ずかしながらチャレンジ失敗に終わってしまいました。ただ、これまであまり読んだことのないジャンルの本に挑戦したり、同じテーマの本を何冊も並行して読んで比べてみたり、好きな著者の本を複数冊読んでみたりと本との付き合い方が変わり、読書の楽しさを改めて感じました。今年こそは100冊を達成してリベンジを果たせるよう、精進いたします！もう1年お付き合い頂ければ幸いです。

2017年の私の目標は『鍛錬』です。何でもござって済ませてしまうせつさかちで雑なところを直し、毎日こつこつと積み重ねることを大切にしたいと思います。四字熟語で言うと、「日々精進」「日進月歩」でしょうか。皆さまにとっても幸せな1年となりますことを心よりお祈り申し上げます。改めまして、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます！



— 今月の1枚 —

毎年、公益財団法人日本漢字能力検定協会が全国公募によって決定している「今年の漢字」。その年の世相をあらわす一文字が、京都の清水寺で揮毫（きごう）されます。

2016年は『金』でした。リオ五輪の金メダルラッシュや政治資金問題、PPAPのピコ太郎などがその理由とのこと。ちなみに2015年は安保法案や安倍政権の『安』でしたね。

皆さまの2016年をあらわす漢字はなんですか？ by 住吉



多趣味で生きていきたい

パートナー 宮内 伸人

あけましておめでとうございます。山陰の宮内です。ここ山陰も近年まれに見る暖かいお正月だったように思います。このままなんとか暖かい陽光を浴びながら春に向かってほしいと思っています。そんなお正月休みも、忙しない親戚づきあいなどであったという間に終わろうとしております。しかしせっかくのお正月なのでこの年齢になっても自分自身の成長を願うのも自然なことですよ。

私はよくこの人は多趣味な人だな。と憧れを抱く人に会います。子どもの頃からの稽古事を大人になってもそのまま続けておられる方もたくさんお見かけします。うらやましいですね^^。私はといえば、「昔取った杵柄」よろしく球技たとえば野球やアメリカンフットボールをもう一度始めようと思っても、古傷の再発（脱臼癖><）が怖くてもう出来ません。また大人になってから何か新しい趣味を、と考えたときにまず直面することが、時間の配分がうまくいくのか？家庭や仕事との両立がうまくできるのか？何かに没頭したいという好奇心に満ち溢れることができるのか？とにかくワクワクし続けることができるのか？オカネはどうなんだ？などの、さまざまな現実的なベースを探ることが多くなります。そんな中、多趣味な生き方に関する記事を見つけました。元日の産経新聞第3部の1面に雅楽家の東儀秀樹さんの特集がありました。「(自分は)貪欲な人間だから、どんな瞬間も妥協しない。」

東儀さんが最近最も力をいれられていることのひとつに「育児」があるそうです。ご子息の幼稚園バッグを手作りしたことがきっかけでキルトのパッチワークや刺繍をすることも趣味になさっておられるとか。まさに、好奇心のバイタリティの塊のような方ですね。僕にはここまでのバイタリティはありませんが、東儀さんは最後にこのように結んでいます。「いい学校に入ってほしいとか、大企業に勤めて欲しいという気持ちは全く無い。むしろ知識が豊富で、度胸があって、行動力がある・・・そんな人間になってほしい」

好奇心のバイタリティがあればこそ、最後には生きる力になりあるいは、力強く生きるための大切なヒントや引き出しになるのでは、と再確認することが出来ました。2017年、何を始めようかな^^？